

序 文

鹿児島大学
南方海域研究センター長 岩 切 成 郎

『南海研紀要』3巻2号を初代センター長、中尾佐助教授に捧げるものである。中尾先生は大阪府立大学を定年退職されると同時に、本学関係者の懇請をいれて、昭和55年4月当時の学内施設であった南方地域総合研究センター長として南下され、次年度、省令によって創設された南方海域研究センターの初代センター長に就任された。

先生は南海研センター創設にいたるまでの粉骨のご尽力にとどまらず、第一次「オセアニア海域における水陸総合学術調査」では、調査隊長として自ら新造練習船「かごしま丸」に同乗、海外探検家としての指導力を発揮され、昭和57年4月に本学を退官されたのである。

この創設の倉皇の間に中尾先生が示された地域研究への情熱は、永くセンターの伝統となるものであり、この紀要を中尾先生の貢献に対する敬意と感謝を表明するための記念号として、発行する所以である。

センターでは発足後2ヶ年の間に、特定研究経費による南太平洋の調査も進捗し、その成果も逐次発表されているが、この号は特定研究とは別個に、学内共同教育研究施設として、関係教官の平素の研鑽を発表するもので、研究課題の多様なことと対象地域の広範なこととは、記念号にふさわしい特色といえよう。

この機会に中尾先生の長寿と南海研センターの発展を祈念するものである。